山口県生協連ニュース vol.237

発行：山口県生活協同組合連合会
〒753－0083　山口市後河原 210
TEL：083-923-5614　FAX：083-928-5416
E-mail：yken.ccu@smile.ocn.ne.jp
http://yamaguchi-kenren-coop.jp/

2021 年 12 月 15 日発行

山口県生協連が令和 3 年度県選奨を受賞しました。

山口県では地方自治をはじめ社会福祉その他各方面にわたり功労のあった個人・団体を毎年知事が選奨しています。本年、山口県生協連は社会活動功労により選奨を受けました。

（事績概要）

昭和 24 年本会を設立し、以来今日まで 72 年余の長きにわたり、消費生活協同組合運動の発展に尽力した。

その間、県内の消費生活協同組合に対する指導・研修などを通じて、食の安心・安全や環境保全をはじめ様々な分野における県民生活の向上に寄与した功績は顕著である。

選奨式は令和 3 年 11 月 19 日（金）午前 10：30 分より県庁 4 階正庁会議室でおこなわれました。

県生協連を代表して岡崎会長理事が選奨式に出席し、村岡県知事から表彰を受けました。

今年度は 7 分野において 54 人と 7 団体が表彰されました。

２０２１年度第１回役職員研修会を開催しました

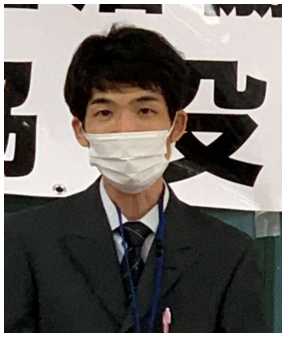
日 時 ： 2021 年 10 月 21 日（木）
場 所 ： コープやまぐち本部研修室
時 間 ： 13：00～14：00
参加者： 70 名（web 参加者 10 名含む）
演 題 ：「５G や AI、IOT 等未来技術の導入・利活用の促進について
～産業戦略部の取り組みを中心に～」
講 師 ：山口県産業戦略部地域産業高度化推進室
地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム主査　先本亮一氏

西日本電信電話株式会社　エンタープライズビジネス営業部
法人営業部門　法人営業推進担当　流通チーム主査　亀野博司氏

講演に先立って、生協連の岡崎会長理事が挨拶をしました。「今、コロナをきっかけに社会は大きく変わろうとしています。この機会に多くの企業同様、私たちもデジタル技術を活用して、組合員や社会のニーズに対応できるように、私たちのもっているビジネスモデルを変革するとともに、日常業務や組織風土、企業文化を変革し、より未来へ向けて躍進できる、そういう組織にすることが重要です。DX とは単に IT 技術を使うだけでなく私たちの仕事そのものをしっかり変革し、そういう視点をもって取り組んでいくことが重要だと思いますので、しっかり学んでいただきたいと思います。」

岡崎会長理事

続いて山口県産業戦略部の先本主査が山口県のデジタル推進の取り組みを中心に話をされました。
5G、AI、IOT はもののサービスの生産性、利便性をつかさどり、産業を飛躍的に向上させるもので、新型コロナによる新しい社会においてもその技術の活用性が認識されています。また山口県は少子高齢化の現状からしても、未来技術の投入によって生産性の向上と新たな付加価値の促進が必要とされ、さらに新たな社会づくりや産業競争力の投入が必要とされています。


先本亮一氏

まず県内における 5G の利活用について、へき地医療や文化振興のとりくみを紹介されました。ものづくり企業における DX(デジタルトランスフォーメーション)推進では、企業の生産性向上等の課題、人材不足、ノウハウ等の解決にむけた支援について説明され、製造業、中小企業、商店街、農林水産物販、建設分野の DX の取組事例も紹介をされました。

続いて小売業によるデジタル化動向について、西日本電信電話株式会社エンタープライズビジネス営業部主査の亀野様よりリモートでご説明いただきました。

小売業界においての DX の必要性、キャッシュレス化などのトレンド、食品スーパーの課題と対応の方向性について、自動発注などのデジタル化による食品ロスの削減と SDGs への貢献などご説明いただきました。

（参加者の感想）

「コロナ禍　人との接触が困難な中、DX や５G 活用による業務は必要だと思います。今後、人がしている業務に変わり、新しい技術を取り入れ､業務の効率化を図りたいです。」

「業務と直結する様な内容で最新のデジタル技術の事を聞けたのでよかった。」

「DX を単なるデジタル推進や事業変革だけにとどめるのでなく収益構造や事業の成長につなげなければいけないことがわかった。」

第 43 回福祉メーデー山口県集会で基調報告

（一社）山口県労働者福祉協議会は 11 月 10 日（水）14 時より、山口市の労福協会館において「第 43 回福祉メーデー山口県集会」を開催しました。

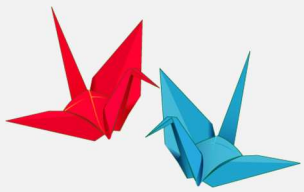
メインスローガンは【すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！】

基調報告で山口県生協連から、荒瀬専務理事が「生協における子どもと高齢者への支援活動」と題して生協連に加入している生協の少子高齢社会に対応する取り組みを紹介しました。

高齢者への支援では、炊事や買い物を「夕食宅配」､「移動店舗」､「買い物サポートカー」で支援、また家事などの支援では有償たすけあいがあり、人とのつながりづくりのためのサロン活動や健康教室などの取り組みを紹介。また、子どもと親への取り組みとして、子育てひろばやサークルなどの場づくり、こどもごはんなど食事の支援を紹介。

その他、無料・低額診療制度や生活再生事業などの支援活動を紹介しました。

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名に 10,000 筆を超える署名！



山口県生活協同組合連合会では、山口県原爆被害者団体協議会・山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑からの呼びかけに賛同し、7 月から署名に取り組みました。11 月末までに会員生協の組合員さまをはじめ多くの方に 10,000 筆を超えるご協力をいただきました。生活協同組合コープやまぐちでは 2022 年 8 月末まで継続実施をされる予定です。

会員生協トピックス

生活協同組合コープやまぐちが「やまぐちエシカル推進パートナー」第 1 号に認定されました。

山口県では今年度から新たに、地球温暖化や食品ロスのような消費に関わる社会問題への取組として、エシカル消費に積極的に取り組む事業者を対象に、「エシカル推進パートナー」を募集しています。

コープやまぐちは「エシカル推進パートナー」県内第 1 号に認定され、10 月 26 日、ここといずみ店で認定式が行われ、岡崎会長が県環境生活部の京牟礼次長から認定証を授与されました。

京牟礼次長（左）から認定証を受け取る岡崎会長（右）

コープやまぐちでは、“誰かの笑顔につながるお買い物”というキャッチフレーズのもと、地産地消・産直商品やフェアトレード商品の取り扱い、フードバンクポストの設置など、組合員と一緒に様々なエシカル活動に取り組んでいます。

NPO 法人　消費者ネットやまぐちからセミナーのご案内

参加無料

高齢消費者被害防止　見守りセミナー　　主催：山口県

テーマ　「見守りのポイント～地域の安全をみんなで守る～」

講師　　金融広報アドバイザー、消費生活アドバイザー　岡本　浩司　氏

日時・会場　Web でも参加できます

月　日	時　間	会　場
1 月 19 日（水）	10：00～11：30	サンワーク美祢　大会議室
	14：00～15：30	長門市しごとセンター　セミナールーム
1 月 29 日（土）	14：00～15：30	海峡メッセ下関　8F　801 会議室
2 月　2 日（水）	14：00～15：30	光市市民ホール　大会議室

お問い合わせ・申し込み先 NPO 法人消費者ネットやまぐち　TEL:083-902-3200